



医療安全管理委員会について

医療安全管理委員 山口 美枝

当院では、日々看護スタッフや介護スタッフと協力して、適切な医療安全管理を推進し、医療事故の防止に努め、また発生した事故に対して迅速且つ適切に対処するとともに、同種の事故の再発を防止し、安全な医療、介護の提供に資することを目的としています。

組織的取り組みとして、医療安全管理委員会を設置し、医療、介護の質の向上、安全性の確保のための活動を行っています。

当病棟での事故の多くは、「損傷」で皮膚の剥離が大部分を占めています。高齢者の皮膚は、外力に非常に弱いです。表皮剥離は老人特有のものでどうにもならないとお考えの方もおられると聞きます。しかし、いろいろな方法で外部環境の見直しを図ることができます。私たちは、レッグウォーマーの使用や、移乗時には職員二人で介助を行う方法で事故の減少に繋げていくようにしています。

また、「転倒」も「損傷」に次いで多く発生しています。認知症の患者様は思いがけない行動をとられることがあります。特に徘徊時や、帰宅要求時、興奮時には私たちにとっては些細な行動が事故に繋がる可能性があり、リスクが高くなるように思います。そのため、常に患者様に目を向けることがとても重要だと思います。当病棟では、離床センサーの使用の他、問題があればその日のうちに、スタッフ全員で原因や対策を検討し、患者様の



の個々の状況に合わせた計画に反映させて実行しています。

より安心・安全な環境を提供するために、医療現場におけるリスク情報を多く集め、院内のみならず他の医療機関で起こった事故についても職員相互間で情報を共有し、同類の事故を起こさないように注意していきたいと思っています。

私たち医療安全委員は、病棟スタッフと共に患者様の生命・健康が守られるべきと考え、自分の役割を十分に認識し、医療・介護の安全対策に積極的に取り組み、事故を最小限にできるよう努めていきたいと思っています。

ピピピピッ!!と音が鳴り、教えてくれます。



このマットを使用し寝ている患者さんが動かれると・・・



無線で受信機に信号送信

しかし、100%完全に教えてくれるというものではありません。

新人紹介

事務 櫻木 まゆみ



今年の3月より当院の事務で勤務させて頂いております櫻木です。

毎日の業務が充実の日々であり、1日1日があっという間に過ぎる毎日です。長年、介護職に携わってまいりましたが、事務職としては初めての経験でこなしていけるだろうかと不安を抱いていましたが、周りの方々のあたたかい教えと沢山の優しさのお陰で、早半年を過ごさせて頂いています。

元気と明るさがとりえですので、病院の顔、受付・事務として患者様の目線で安心して来て頂けるよう努めていきたいと思えます。又、何事にも一生懸命に取り組み、初心を忘れずに努力、精進していきたいと思えますのでどうぞ、宜しくお願い致します。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス
<http://www.uenokoen-hospital.jp/>

E-mail
uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp

作業療法だより

今年の梅雨は例年より10日ほど早く明け、昨年のような大雨も降らず、厳しい暑さが続いています。このような暑い時期は熱中症の心配もあり、なかなか患者さん達を外に連れ出すことが出来ません。また、冷房の入った快適な室内で過ごしているため季節感が薄れてしまっている方も多いようです。そこで夏の風物詩のひとつであるスイカ割りを行なうことにしました。数名の方に目隠しをしてスイカを割っていただきましたが、全く違う所を叩いて悔しがる人や上手く叩けて喜ばれる方など反応は様々でした。周りで見ている患者さん方も「もう少し右！左！前、前！」などと大きな声を上げられていました。スイカ割りの後のおやつはもちろんスイカです。皆さん、「あまい！おいしい！」と嬉しそうに食べられていました。この日は暑い夏を感じる事が出来る一日となりました。



お知らせ

前号でもお知らせしましたが、入院患者様で新しい保険証や減額認定証を提出されていない方は、8月中の提示をお願いします。

また詳しくは別紙にてお知らせ致しますが、9月12日（木）には「家族のつどい」、10月上旬には文化祭を予定しております。患者様、ご家族、当院のスタッフとのコミュニケーションを図る良い機会ですので、多くの方の参加をお待ち申し上げます。

